



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R3.10.27 No.40



○ 校内マラソン大会のお知らせ

10月28日(木)、2年ぶりとなる校内マラソン大会を予定しています。本番では、試走の時のタイムを1秒でも縮めよう頑張ってください。

<出走予定時刻>

- ・9:40 1年生男女
- ・9:42 2年生男女
- ・10:05 3・4年生男子
- ・10:07 3・4年生女子
- ・10:30 5・6年生女子
- ・10:32 5・6年生男子

<コース>

- 1・2年生 約1km
S→①→②→③→②→①→G
 - 3・4年生 約1.5km
S→グランド1周→①→②→③→⑥→⑦→②→①→G
 - 5・6年生 約2km
S→①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→②→①→G
- ※スタート位置:40m後方から



【お願い】

- 1 参観者について
1家族につき2名以内の参観にしてください。
※参観者のうち必ず1名は、学校配布の名札をご着用ください。
- 2 参観に関する留意事項
 - ①当日、風邪・せき・熱等の症状があったり、体調がすぐれなかったりした場合には、参観しないでください。特に、熱が37度以上ある場合は、参観を固くお断りします。
 - ②参観される時は、常時マスク着用のうえ、1m以上の間隔を空けてご参観ください。また、大声を出すなどの行為は避け、拍手のみの応援や賞賛をお願いします。
 - ③撮影された写真や動画をSNSやYoutube等へ投稿・公開することはご遠慮ください。

【運動神経は小学校までで決まる？ 今、子どもの運動能力を下げないために】

ゴールデンエイジという言葉を知っていますか？

ゴールデンエイジとは、小学校4～6年生ぐらいの時期のことで、動きを頭で理解してから体に伝えるのではなく、見たまま感じたままのイメージに従って体全体で技術を吸収していく特別な時期のことです。そのために、この時期以前(プレ・ゴールデンエイジ)に様々な運動・遊びを通じて、神経回路を活性化し、準備をしておくことが重要だと言われています。

◎プレ・ゴールデンエイジ(5～8・9歳頃) ～ スポーツの楽しさを伝える ～

脳をはじめとした神経回路が急ピッチで伸びている時期です。運動能力の基礎は、この年代で形成されます。従って、この年代の子供達には特定のスポーツだけでなく、色々な遊びを経験させ、身体を動かすことの喜びを教えて、「動くことが好き」という状態で次のステージへつなげることが理想的です。

この時期の子供は、楽しそうなこと、興味のあることには夢中になりますが、おもしろくないと感じればすぐにやめてしまう特徴を持っています。子供たちがその時に興味を示したこと、楽しんでいることを大切にしながら、自主性を損なわないようにすることが重要です。

現代っ子の運動力の低下が叫ばれていますが、ゲーム機の発達などにより、昔に比べてこの年代に外で走り回って遊ぶ時間の減少が大きいせいではないかと考えられています。

◎ゴールデンエイジ(9～12歳頃) ～ 実践的な技術の定義 ～

神経系の発達がほぼ完成に近づき、形成的にもやや安定した時期です。従って、動きの巧みさを身に付けるのに最も適しています。この時期は一生に一度だけ訪れる、あらゆる物事を短時間で覚えることのできる「即座の習得」を備えた時期(ゴールデンエイジ)と言われています。また、精神面でも自我の芽生えとともに、競争心が旺盛になってくる時期でもあります。

この時期には、プロが見せるような高度なテクニックも身に付けることが可能です。一度習得した技術は大人になってからもずっと身に付いています。ですから、この時期に多くの技術を学ばせることが重要です。つまり、基本と高度な技術の両方をこの時期に身に付けさせるべきなのです。

しかし、この時期はまだ、筋肉が未発達なため、強さや速さに対する体の準備はできていません。従って、スピードや力強さを要求するのではなく、大人になっても必ず残る財産ともいえる「技術(スキル)」のみを身に付けさせるよう心がけたいものです。

コロナ禍で、家にこもったり、運動する時間が不十分であったりしていますが、運動神経を良くしたり、運動能力を高めたりするために取り組む時期、良い影響を与える時期は一生に一度、まさに今がその時なのです。

○ 後期児童会役員選挙立ち会い演説会・投票

10月27日(水)、後期児童会役員選挙立ち会い演説会と投票が行われました。立ち会い演説会では、それぞれの立候補者が4～6年生を前に、自分が会長や副会長になって、こんなことをしたい、こんな学校にしたいという思いを熱く訴えました。児童会役員選挙に立候補し、演説会で、多くの人を前にして演説するという事は、それだけで十分に立派なことです。こうした経験は、必ず今後に役立つと思います。

